

マキノ病院ニュース

第129号

— 令和5年10月1日発行 —

就任にあたりまして

看護部長代行 野崎 紀子

今年1月より副部長代行として部長業務のお手伝いをしながら管理業務を勉強させて頂いております。今までは違う慣れない環境での業務に、あつという間に時間がたち、このたび9月21日より看護部長代行という責任重大な立場に就任させて頂いていただくことになりました。この場をお借りしまして自己紹介も含め、ご挨拶させていただきます。

私はマキノで育ち、小さい頃からマキノ病院に受診することも多く、身近な環境の中に病院がありました。そしてご縁がありまして平成8年より勤務させて頂いていただき、今年で27年になります。病棟、外来で沢山の経験をさせて頂いていただき、現在があります。人生の半分を看護

師として働かせて頂いていると色々なことがありました。なかでも、ここ数年の新型コロナウイルス感染症については、今まで経験したことのないことばかりで、私たち職員も感染しないよう細心の注意を払って、24時間、入院患者さまに寄り添い、不安を軽減できるよう努めてまいりました。また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した今も、感染に対して特に注意が必要な患者さまがおられる病院にあつては変わらぬ感染対策が求められ、ご家族の面会や外出泊を引き続き制限させて頂いております。その分私たち看護師は、入院中の患者さまの不安を少しでも軽減し、安心して過ごしていただけるようにこれからも寄り添う看護の実践に

注力いたします。また外来の患者さまには、待ち時間を短縮できるように心がけておりますが、日によって診察までの待ち時間、最近では発熱等で受診される際にも待ち時間が長くなってしまうことがあります。体調が悪いのに待たされてしまうといったこともあったと思います。患者さまにできるだけ気持ちよく診察を受けていただけるように、課題に向き合っております。

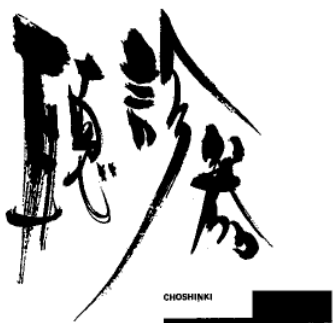
高島市内は県内で最も高齢化が進んでおり、2025年には36.4%、2040年には40.6%と高齢化率が高くなっています（ちなみに滋賀県全体の高齢化率は2023年27.0%、2040年32.8%となっています）。高齢者夫婦での老介護、高齢者独居による生活困窮者など、自宅での生活が困難となる問題が地域的な

かで起こっています。地域の病院として、このような問題にも何かできることはないかを考え、マキノ病院の理念にもあるように、患者様中心の医療を提供し、患者さま・ご家族に信頼と満足をいただき、それが地域の皆様の安心につながるよう、努めてまいりたいと思っております。

診療科のご案内
内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科・総合診療科
肛門外科・泌尿器科・リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —
平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00
滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099
ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>

ドクターコーナー



当院ではもともと外来検査としての大腸内視鏡検査を施行した時に見つかったポリープの対応は、5ミリメートル未満サイズのポリープに関しては、数年後にフォロウの検査の予定をたてたり、5ミリメートル以上サイズで、切除が必要と思われるポリープに関しては、後日、1泊2日の入院をしていただき、切除

をしております。ただ最近では、日帰り（つまり外来での検査中）での切除可能なポリープの対象が増え、他施設で同様の処置が行われており、当院でもコールドポリペクトミーを導入していく方向となりました。

当院での「コールドポリペクトミー」導入について

内科 寺尾 晃一

ポリープ切除に関しては、一般的に通電（電流を通す）して、ポリープの根元からスネアという金属製の輪っかをかけて搾り、焼き切るものが多かったのですが、外来で切除可能なポリープに関しては、通電せず（つまり焼き切ることはせず、生

で切る）に切除します。次に、この2通りの切除のリスクについて説明します。一般的に、通電しながら切る（ホットポリペクトミー）方法は、止血しながらの切除になるので、切除中はほとんど出血は認めません。逆に通電せず生

で切る（コールドポリペクトミー）方法は、必ず出血します。しかし軽微な出血が多く、その場で出血が止まっているのを確認して終わることが出来ます。ポリープ切除後の出血で問題となるのは、数時間数日後に出血することがあること

です。そのリスクが高いのは、ホットポリペクトミーの方と言われています。そのため、ホットポリペクトミーの対象となるポリープに関しては、今まで通り入院での切除処置になります。ただ、コールドポリペクトミーに全く出血のリスクがないわけではありません。日帰りででの処置になりますので、切除ポリープが多くなればなるほど、出血のリスクも高くなります。そのため4〜5個程度が限界になります。ポリープが多い場合、何回かに分けて切除していくこととなります。

大腸内視鏡検査という嫌な検査は、あまり何度もしたくないと思われる患者様も多いかと思いますが、ただポリープの数や種類によっては、再度しなければならぬこともあります。『できれば

ば一回で済ませたい』『入院は避けたい』と思われる患者様には、朗報と思われれます。最後に、検査のみとは違い、日帰り切除となった場合は、3割負担の患者様で2万円前後の医療費が多くなることがありますので、ご了承ください。

